

【一葉の魅力⑰「日本最先端」の独自授業〈2〉「最強AIの登場によって5年で常識が覆る」 瀬々氏がゲスト講演、AIの急激な普及と魅力を伝えました】

2025/5/7公開



『ChatGPT』の登場から2.5年しか経っていません。最強AIの登場によって5年で常識が覆ります」

第一薬科大学・薬学部薬科学科の1年を対象にした科目「薬学データサイエンスへの招待」で、ヘルスケアやAI

サービスを手がける株式会社「ヒューマノーム研究所」代表取締役 CEO、瀬々潤氏がゲスト講演。これまで研究による発見は世に広まるまで少なくとも10年以上はかかるのところ、AIはものすごい速さで世の中に普及していることやその魅力を伝えました。

瀬々氏は東京工業大学准教授を務めた後、国立研究開発法人「産業技術総合研究所」人工知能研究センターの機械学習研究チーム長を経て起業しました。国内でも生成AIをつくる取り組みが行われており、瀬々氏が代表を務める会社のメンバーも入っているそうです。

今では文章作成に生成AIのひとつ「ChatGPT」を使った芥川賞受賞者が現れたり、鶏肉の検査にAIの画像解析を使った実証実験が行われたりするなど、いろいろな分野でAIが浸透。かつてならばAIを敬遠していた経営者も興味を示し、部下に薦めるような時代になっているそうです。

瀬々氏は従来の対話型AIとChatGPTとの違いについても説明。単純な質問にしか答えられなかったのに今では翻訳や要約までしてくれるようになって進化していることを伝えました。

一方、AIでも論理思考が弱い点など課題も指摘。今は人間を介してAIの計算機（コンピュータ）が機能していますが、将来的にはその計算機同士が人間では理解できない「言語」で意思疎通をしていく世界になるそうです。